

神学校献金(神学生奨学金献金) 振替00150-7-669605 日本バプテスト連盟全国壮年会連合事務局

全国壮年大会準備こぼれ話 第54回全国壮年大会実行委員長 伊東昌彦(横浜JOYバプテスト教会)

神奈川県地方連合壮年大会では役員をブロック単位で担うことになっておりまして、今まで壮年大会に積極的に出ていなかった私を含め3名が役員になりました。役員の引き継ぎ、全国大会の準備の仕方などを先の役員から教わりながら準備に入り、2018年度は実行委員会を設立し具体的な準備に入りました。

8年前に実行委員で活躍された方も、実行委員として名を連ねてくださいました。「8年という年月を重ねており、以前のようには動けないよ。でも、こんな私だけど主は用いてくださると信じている。」この言葉が、主題になりました。全国の壮年の方も同じような思いをお持ちかもしれない、と感じました。

信仰によって押し出されて、主のご用にあたりたい。そのような思いになるように導いてくださる講師がいいね、ということで、東日本大震災、福島第一原発事故を経験し、教会の人と共に山形、埼玉、奥多摩と移動しながら、いわき市に新たな教会を建てるに至り、信仰に押し出されて益々活動の幅を拓けている佐藤彰先生に講師になって頂きたいということで、お願いすることになりました。1年前でもスケジュールが埋まっている先生ですが、たまたま全国大会の週のスケジュールが空いていて、快くお引き受けくださいました。

全国大会の2日目を佐藤彰先生の講演、先生に聞く時間に集中させ、先生との時間を大事にするこ

とにしました。大会以外のプログラムはありません。佐藤彰先生の著書の販売も予定しています。暑い時になるかと思いますが、今から予定に入れて頂き、天城にお越し頂けたら、素晴らしい時になると信じております。



福島第一聖書バプテスト教会正面玄関



2018.12.15 いわき市の福島第一聖書バプテスト教会を訪ねました。左：小平公憲副委員長、中：佐藤彰先生、右：伊東昌彦大会実行委員会

公 示 2019年度総会において以下の通り選挙を行います。

2019年度総会において以下の通り選挙を行います。

<立候補対象>

●2020・21年度 日本バプテスト連盟全国壮年会連合 会長、副会長 各1名および監査2名
「全国壮年会連合 規約」第7条および「同 規約細則第21条」による。会長立候補者は当選後、総会にて事務局長、書記、会計各1名を指名し承認を得ることとなりますので、事前に選考願います。

●立候補締切り：2019年7月31日(水)

●全国壮年会連合規約細則第23条による選挙管理委員会の委員長宛に、書面で届出をしてください。

届出の内容は、「立候補する役員名、氏名、所属教会、受浸年月日」を記載してください。様式は自由です。

<届出先>選挙管理委員長：山内章彦(中部地方連合壮年会長) 〒512-1216 三重県四日市市桜花台2-21-4

選挙管理委員：堂前剛志(北海道地方連合壮年会長)、石井努(北関東地方連合壮年会長)、岡本吉正(西九州地方連合壮年会長)

注1) 選挙管理委員会は、総会当日まで立候補者名は公表しません。ただし立候補者ご自身のご判断で公表されることは自由とします。

注2) 会長と監査が同一教会・伝道所から立候補があった場合、選挙管理委員会にて調整させていただきます。

2019年度総会議案

1	2018年度全国壮年会連合活動報告 資料：2018年度神学校金・会費一覧(3年分実績)	6	6-1	2019年度全国壮年会連合一般会計修正予算案及び2020年度全国壮年会連合一般会計予算案
	2018年度全国壮年会連合奨学金委員会活動報告		6-2	2019年度全国壮年会連合奨学金会計修正予算案及び2020年度全国壮年会連合奨学金会計予算案
	2018年度一般会計決算報告	7		2020-2021年度全国壮年会連合会長・副会長・監査選挙に関する件
	2018年度奨学金会計決算報告	8		第56回(2021年度)全国壮年大会担当地方連合の件
	2018年度監査報告	9		2020年度 総会議長の件
2	2020年度神学校献金(神学生奨学金献金)目標額の件	10		「奨学金制度の充実」関係規程改正の件
3	会費値上げの件		10-1	奨学金規程第10条に関する規程改正案
4	2019-2020年度全国壮年会連合活動計画案		10-2	奨学金規程第11条～15条に関する規程改正案
5	2019-2020年度全国壮年会連合奨学金委員会活動計画案		10-3	専ら伝道の業に従事する者に関する規程改正案
		11	協議	奨学金制度についての提言

「証し」 九州バプテスト神学校 牧師・主事コース1年

海蔵隆志（カイゾウタカシ） 都城キリスト教会



私は40歳の時にバプテスマを受けました。バプテスマを受けた翌月の晩餐式で、牧師から感謝の祈りを指名され、頭の中が真っ白となりました。モジモジしながら、変な汗をかきながら十字架の前に立っていましたが「私はイエス・キリストを信じます。」という言葉だけが頭に浮かび、それだけを祈り「アーメン」と言いました。今、振り返りますとこの出来事が、私の信仰告白であり、イエス・キリストとの出会いだったと思います。

その2年後には「働きながら学べる神学校」というフレーズに魅かれ、九州バプテスト神学校の本科コースで、本当に働きながら学ぶようになりました。キリスト教や教会について、ほぼ無知でしたので、神学校の学びの中で聖書の読み方や、イエス・キリストのこと、信仰生活の基本的な事柄を、教えて頂きました。働きながらの学びは、大変厳しいも

のですが、イエス・キリストにあって、本当の自分に出会える学びであり、変えられていく喜びがあります。

昨年度のスクーリングの時でしたが、各々の教会形成について、話し合う機会があり、どの教会もそれぞれに大きな課題や悩みを抱えている事を知りました。私の所属する教会も牧師が87歳と高齢で、毎日デイケアセンターに通いながら、講壇に立たれています。そうした中、私自身これまで、自身の救いや、家族の救いだけに満足している信仰でしたが、それだけに留まっていたはいけないと思うようになりました。

4月から牧師コースに入り、働きながらの学びを続けています。未だに教会にどう仕えるのか覚悟が定まらない私ですが、周囲の祈りに支えられながら、執り成し祈って下さる十字架のキリストに従っていきたいと思います。

「壮年大会でパネルディスカッションを行ないます！」

全国壮年会連合事務局長 豊永義典

今年の壮年大会については、1面巻頭で伊東実行委員長がアピールされておりますが、2泊3日ということもあり、また昨年度の大会の総会で、代議員から中長期の課題について検討を開始するように宿題を頂いたことから、実行委員会に全国壮年会連合役員会が企画して運営する時間を2時間欲しいとお願いをし、頂くことが出来ました。この時間をどのように使うか役員会・奨学金委員会と一緒に検討した結果、パネルディスカッションをしようということになりパネリストの依頼を含め、今その準備作業を進めております。

テーマは「伝道者を生み出し、育てる一希望の持てる牧師の将来像を考えよう！」としました。まず連盟理事会と壮年会役員会から基調報告をしたうえで、5人のパネリストに、それぞれの立場から基調報告への思い、現状の問題点や課題等について語って頂きます。パネリストは神学生・牧師にとっての現場である教会から2名と神学校から3名お願いします。

神学生は教会で育ち、献身の思いを持って教会から送り出されますが、最近神学生を送り出した教会（パネリスト①）には、育て送り出す中での教会側・献身者個人の苦勞や感じている課題を、2つ目の教会は現在無牧師の状態、牧師を迎える準備やそのための教会形成に励んでいる教会（パネリスト②）とし、準備の活動、教会形成の内容や課題、連盟や神学校への要望などを語ってまいります。

もう一つの現場である神学校としては、今回西南学院大学神学部と東京バプテスト神学校、九州バプテスト神学校にお願いします。教育している時点だけでなく、送り出した後のフォローまで含めて、神学生を預かる側としての苦勞や神学生を送り出す教会・牧師を招聘する教会に望むことなどを語って頂きながら、より良い教会と神学校の関係を築いていきたいと願っています。

現状を打開していく大きな課題として、バプテストの信徒として、教会形成の様々なことから牧師任せにしない、牧師と一緒にいろいろなテーマを担っていくことが求められています。

日本バプテスト連盟全国壮年会連合

〒336-0017 さいたま市南区南浦和1-2-4

事務局執務：月、水、金 10:00～16:00 ☎・fax:048-886-7533 <http://www.sonen.net> sonen@bapren.jp